

新あいち創造研究開発補助金における平成30年度の新たな県の実施について

「サービスロボット実用化」の支援

2020年に愛知県で開催される「World Robot Summit 2020」において、本県ロボット産業の技術力を世界へ発信するため、会場である中部国際空港島等において社会実装することを旨としたサービスロボットの研究開発や実証実験を支援するメニューを新設します。

これは、県内に事業所を置く企業によるサービスロボットの研究開発及び実証実験に係る経費の一部を補助するものです。

補助率：大企業 2分の1以内、中小企業 3分の2以内

補助限度額：2,000万円

対象経費：部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費、実証実験協力費、広告宣伝費等
(既存の「研究開発」「実証実験」と同じ。)

実施条件：①サービスロボットの実装を想定する施設や事業者等と連携し、研究開発や実証実験に取り組むこと。

②ロボット革命イニシアティブ協議会が公表する「生活支援ロボット及びロボットシステムの安全性確保に関するガイドライン」を遵守すること。

<https://www.jmfrri.gr.jp/content/files/0pen/2016/SWG2GL.pdf>

③World Robot Summit 2020の会期中(2020年10月上旬)に中部国際空港島等において、社会実装や試用等により、一般に披露できること。

研究開発での「トライアル型」採択の実施

研究開発に意欲のある中小企業の裾野を拡大し、愛知県の産業を支える中小企業の産業競争力の底上げを図るため、過去に本補助金の採択実績がない中小企業を対象とした「トライアル型」採択を新設します。

これは、従来どおりの審査、採択方法で採択とならなかった場合にも、高付加価値な製品、技術の開発を旨とした研究開発への意欲が高い企業を、予算の範囲内で積極的に採択するものです。

補助率：3分の2以内

補助限度額：500万円

対象経費：部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費(既存の「研究開発」と同じ)

トライアル型採択の対象となる条件：

①過去に新あいち創造研究開発補助金の採択実績がない中小企業であること。

②補助金申請予定額が500万円以下の「研究開発」であること。

③公設試験研究機関や大学等と連携して実施するものであること。

<参考>

新あいち創造研究開発補助金（研究開発・実証実験）の概要

対象分野	<p>① 航空宇宙、次世代自動車、環境・新エネルギー、ロボット、情報通信、健康長寿分野、その他知事が認める分野</p> <p>(以下、研究開発のみ)</p> <p>② 「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に指定された特定ものづくり基盤技術分野</p> <p>③ あいち産業科学技術総合センターが支援する技術分野</p>	
対象者	<p>大企業、中小企業※(事業協同組合等を含む)</p> <p>※「トライアル型」の対象者は、過去に本補助金の採択実績がない者に限る。</p> <p>市町村(実証実験のみ)</p>	
補助率	<p>大企業及び市町村 原則として1/2以内</p> <p>中小企業 2/3以内</p>	
限度額	<p>大企業 2億円以下</p> <p>中小企業及び市町村 原則として1億円以下※</p> <p>※「トライアル型」の限度額は500万円</p>	
対象事業	研究開発	実証実験
	<p>県内に事業所を持つ企業等が実施する、次のいずれかに該当する研究開発</p> <p>①中小企業、事業協同組合等が中心となる場合は、原則として、公設試験研究機関や大学と連携して実施するもの(異業種分野の複数企業等が外部機関と連携して実施する場合を含む。)*</p> <p>※「トライアル型」は公設試験研究機関や大学との連携を必須とする。</p> <p>②大企業が中心となる場合は、原則として、産学官が連携する実施体制を構築して実施するもの。</p>	<p>企業等が県内において実施する、次のいずれかに該当する実証実験</p> <p>①次世代成長分野関連技術や地域資源を活用し、市町村等と連携して実施するもの。(異業種分野の複数企業等が外部機関と連携して実施する場合を含む。)</p> <p>②次世代成長分野関連技術の高度化又は実用化に資するもの。</p>
対象経費	<p>部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費、産産連携実施に係る技術的支援を受けるに必要となる人件費(自社の労務費を除く)、産産連携実施に係る旅費 等</p>	<p>部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費、実証実験補助人件費、実証実験協力費、広報宣伝費、諸経費、産産連携実施に係る技術的支援を受けるに必要となる人件費(自社の労務費を除く)、産産連携実施に係る旅費 等</p>

新あいち創造研究開発補助金（サービスロボット実用化）の概要

対象分野	2020年に愛知県で開催される「World Robot Summit 2020」において、サービスロボットを実装・披露することを目的とした研究開発や実証実験
対象者	大企業、中小企業
補助率	大企業及 1/2以内 中小企業 2/3以内
限度額	大企業、中小企業 2,000万円
対象事業	<p>県内に事業所を持つ企業等が実施するサービスロボットの研究開発及び実証実験で、次の条件を満たすもの。</p> <p>①サービスロボットの実装を想定する施設や事業者等と連携し、研究開発や実証実験に取り組むこと。</p> <p>②ロボット革命イニシアティブ協議会が公表する「生活支援ロボット及びロボットシステムの安全性確保に関するガイドライン」を遵守すること。 https://www.jmfri.gr.jp/content/files/Open/2016/SWG2GL.pdf</p> <p>③World Robot Summit 2020 の会期中(2020年10月上旬)に中部国際空港島等において、社会実装や試用等により、一般に披露できること。</p>
対象経費	部品・原材料費、機械装置費、委託・外注費、実証実験補助人件費、実証実験協力費、広報宣伝費、諸経費